

The NSK logo is displayed in a large, bold, red sans-serif font. The background of the slide features a light blue globe with a white grid pattern, and a darker blue silhouette of the Japanese archipelago is visible on the left side.

# NSK

## 2011年3月期 第2四半期決算説明会

日本精工株式会社

2010年11月4日

本資料には、業績見通し及び事業計画等を記載しております。

それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの一定の前提に基づいて作成しております。従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

## **1** 2011年3月期前半(4~9月)実績

## **2** 2011年3月期通期予想

## **3** 中期経営計画の進捗状況

**(補足資料)**

# **1** 2011年3月期前半(4~9月)実績

---

# 2011年3月期 前半(4~9月)業績サマリー

## 事業環境

- ✓ 産業機械：一部に減速分野あるものの、回復傾向継続
- ✓ 自動車関連：新興国需要と支援策効果により、自動車生産は高水準維持
- ✓ 半導体／液晶関連：需給逼迫状況下ながら、調整懸念あり
- ✓ 円高と原材料コストアップ進展

## 決算サマリー

- ✓ 売上高3,528億円／営業利益203億円
  - ・ 第2四半期(7-9月)は対前年同期比増収、営業利益は大幅改善
  - ・ 前半(4-9月)は期初予想(5月発表)を達成
- ✓ セグメント別業績
  - ・ 産業機械事業：産業機械軸受、精機製品とも前半(4-9月)は対前年同期比 大幅増収増益
  - ・ 自動車事業：各国の政策支援効果、新興国の需要増加により前半(4-9月)は対前年同期比増収、営業利益も大幅改善

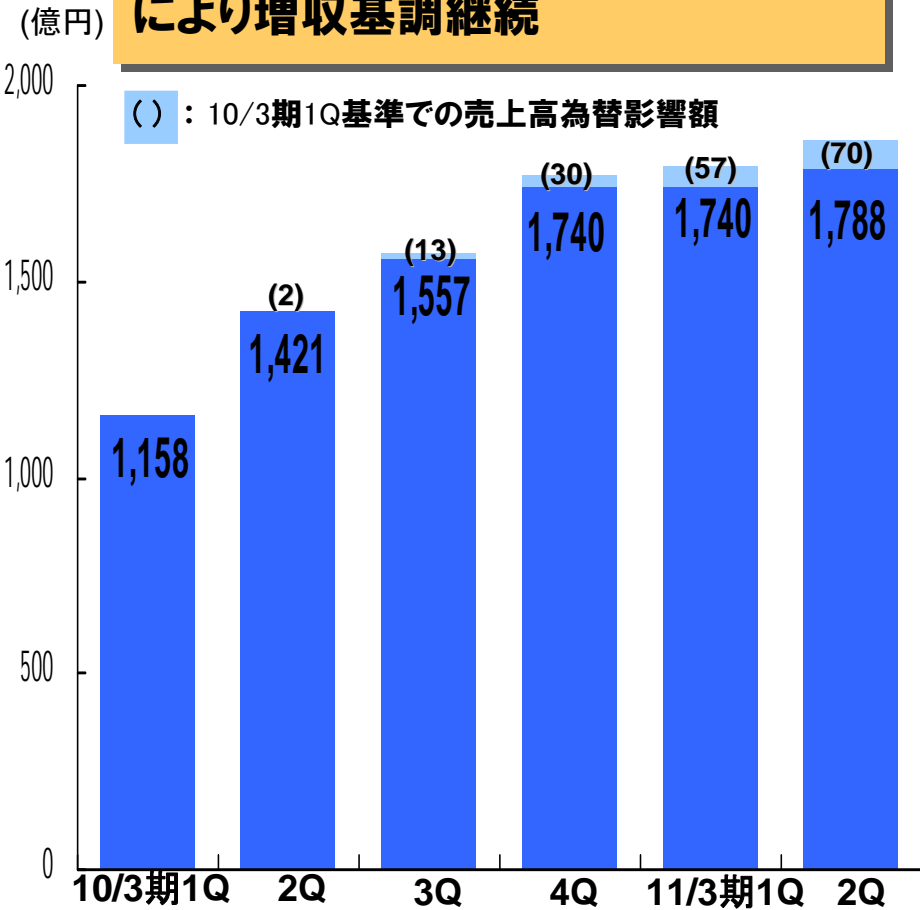
# 2011年3月期 前半 (4~9月) 業績サマリー

(億円)	10/3期前半 ＜実績＞	11/3期前半 ＜実績＞	対前年同期 増減額	対前年同期 伸び率	11/3期前半 ＜期初予想＞
売上高	2,579	3,528	+949	+36.8%	3,300
営業利益	-39	203	+242	-	165
＜営業利益率＞	＜-1.5%＞	＜5.8%＞			＜5.0%＞
経常利益	-87	173	+260	-	140
特別利益	-	-	-	-	-
特別損失	11	-	-11	-	-
税引前利益	-98	173	+271	-	140
当期純利益	-59	106	+165	-	85
(換算レート1US\$=)	(¥95.45)	(¥88.93)			(¥90)
( " 1EURO=)	(¥133.06)	(¥114.03)			(¥125)
<b>【主要指標】</b>					
ROE	-5.0%	8.6%			
Net D/Eレシオ	0.86倍	0.68倍			
棚卸回転数	4.9回転	6.7回転			

# 売上高・営業利益 四半期推移

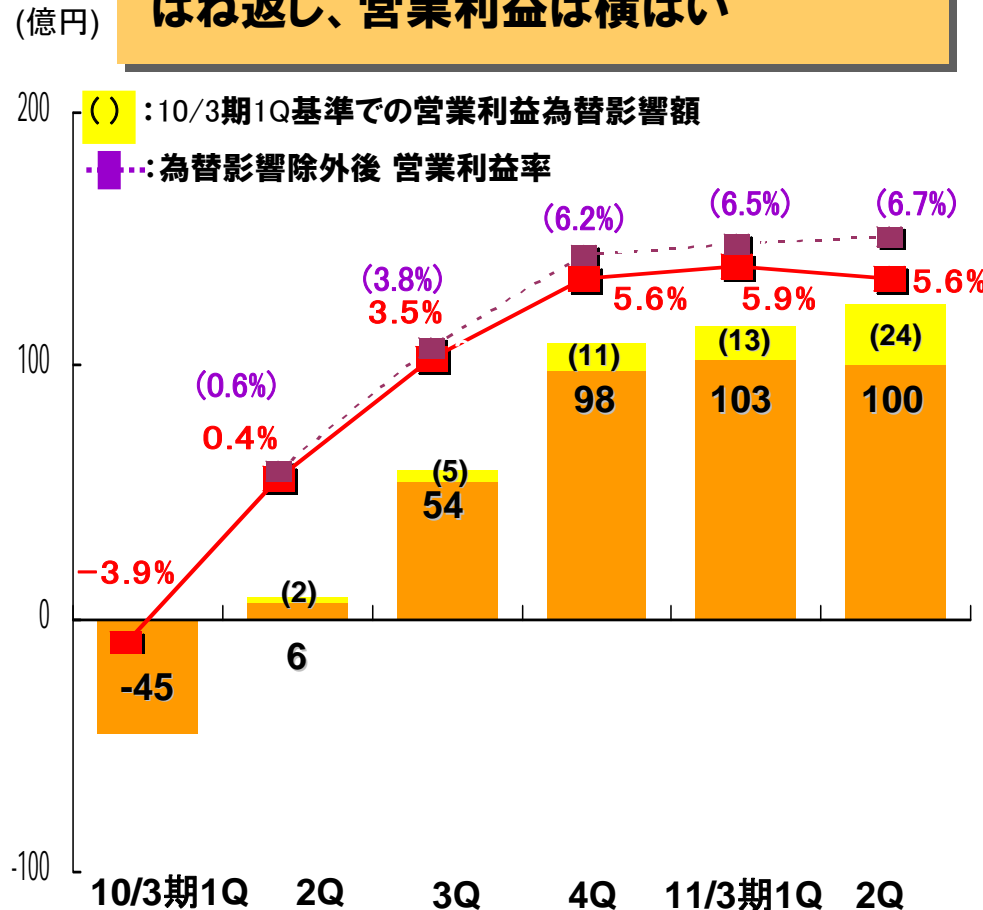
## 売上高

産業機械、自動車ともに堅調な需要により増収基調継続



## 営業利益／営業利益率

鋼材価格上昇、為替円高の影響をはね返し、営業利益は横ばい



US\$= ¥97.13    ¥93.78    ¥89.81    ¥90.61    ¥92.05    ¥85.81  
 EURO= ¥132.51    ¥133.61    ¥132.55    ¥124.89    ¥117.68    ¥110.38

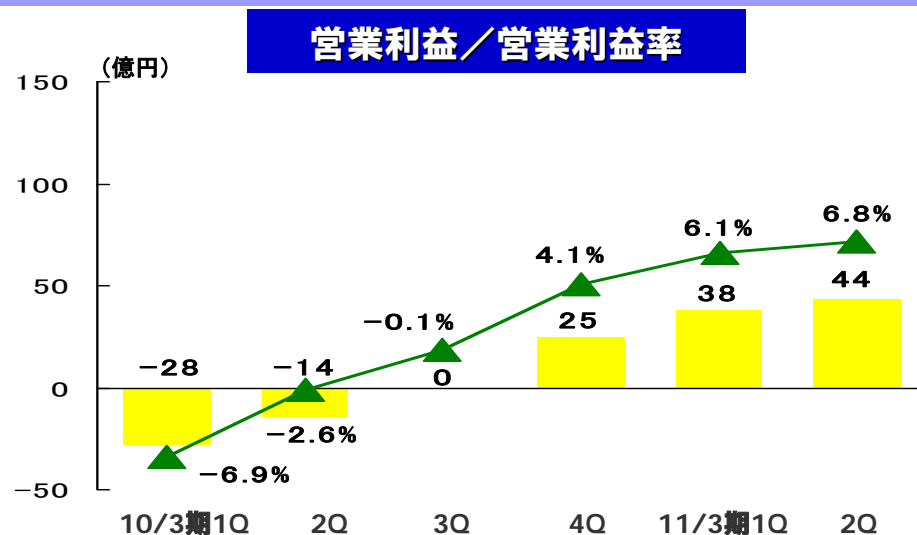
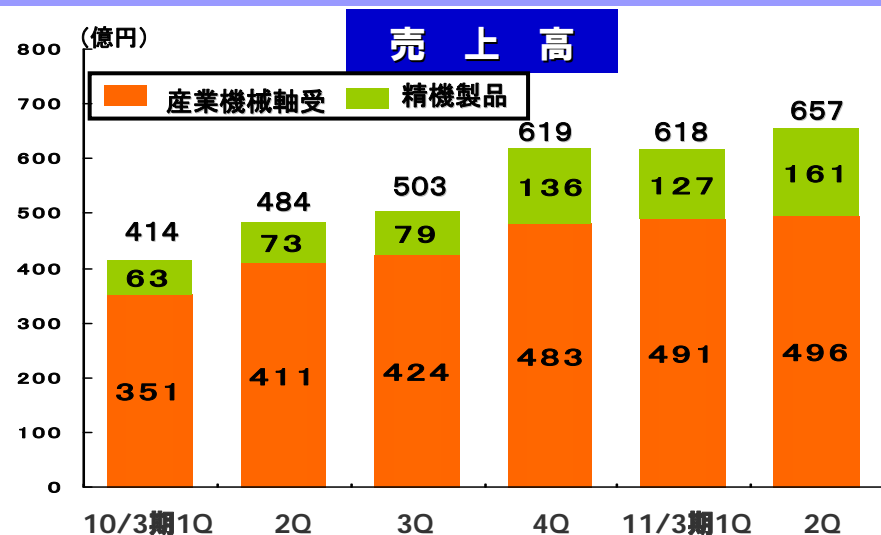
US\$= ¥97.13    ¥93.78    ¥89.81    ¥90.61    ¥92.05    ¥85.81  
 EURO= ¥132.51    ¥133.61    ¥132.55    ¥124.89    ¥117.68    ¥110.38

# 売上高・営業利益 [事業セグメント別]

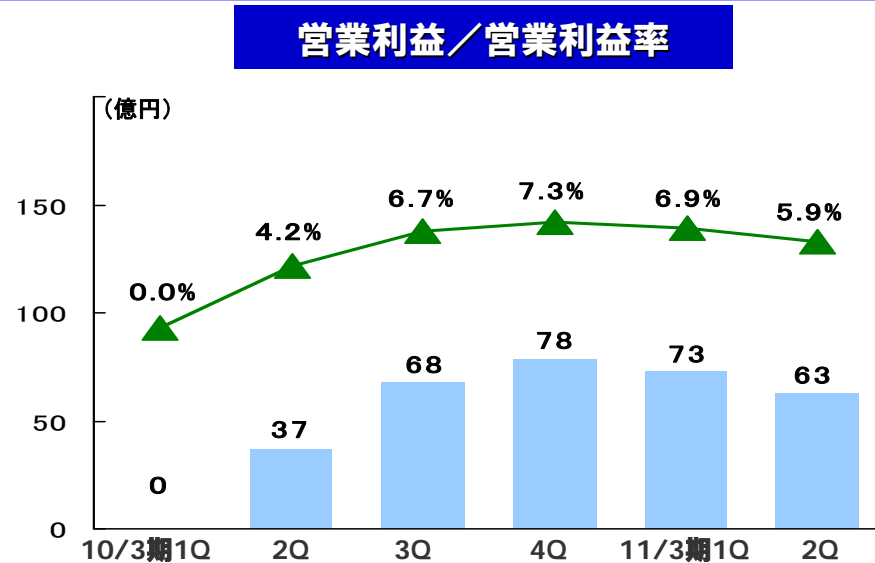
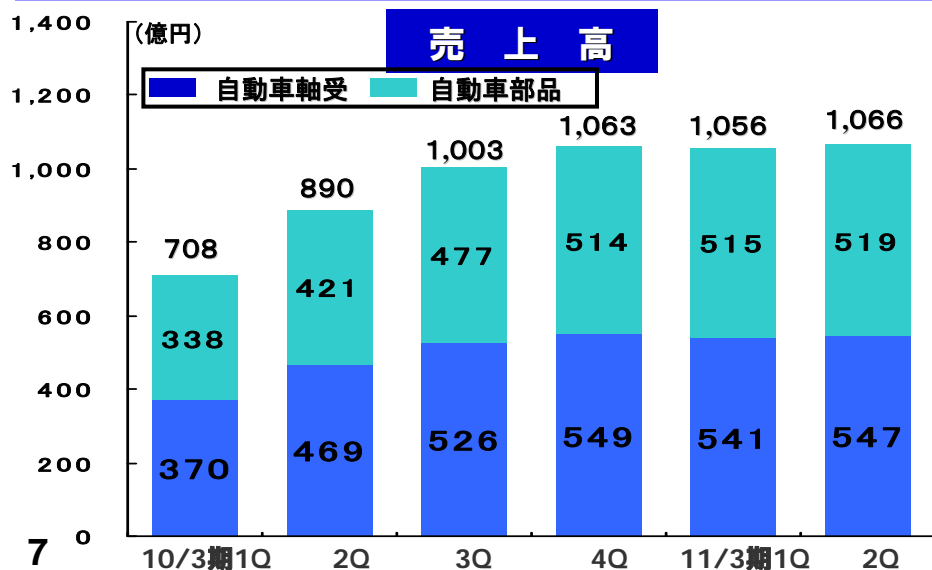
(億円)	10/3期前半 <実績>		11/3期前半 <実績>		対前年同期 増減額	対前年同期 伸び率	11/3期前半 <期初予想>
売上高	2,579		3,528		+949	+36.8%	3,300
産業機械事業	898		1,275		+377	+42.0%	1,185
産業機械軸受	762		987		+225	+29.5%	920
精機製品	136		288		+152	+111.8%	265
自動車事業	1,598		2,122		+524	+32.8%	2,005
自動車軸受	839		1,088		+249	+29.7%	1,035
自動車部品	759		1,034		+275	+36.2%	970
その他	149		261		+112	+75.2%	190
消去	-66		-130		-64	-	-80
営業利益	-39	<-1.5%>	203	<5.8%>	+242	-	165
産業機械事業	-42	<-4.6%>	82	<6.5%>	+124	-	55
自動車事業	37	<2.3%>	136	<6.4%>	+99	+267.6%	130
その他	-9	<-6.3%>	22	<8.3%>	+31	-	10
全社費用	-25		-37		-12	-	-30

# 事業セグメント別業績 四半期推移

## 産業機械事業



## 自動車事業





# 営業利益 増減内訳（'10.3期前半⇒'11.3期前半）

（億円）

'10.3期前半

'11.3期前半

前年同期差額  
242億円

△39億円

売価  
ダウン

△34

為替  
影響

△32

その他  
費用増加

△25

物量増  
影響

+312

外部調達費用  
削減他の効果

+21

203億円

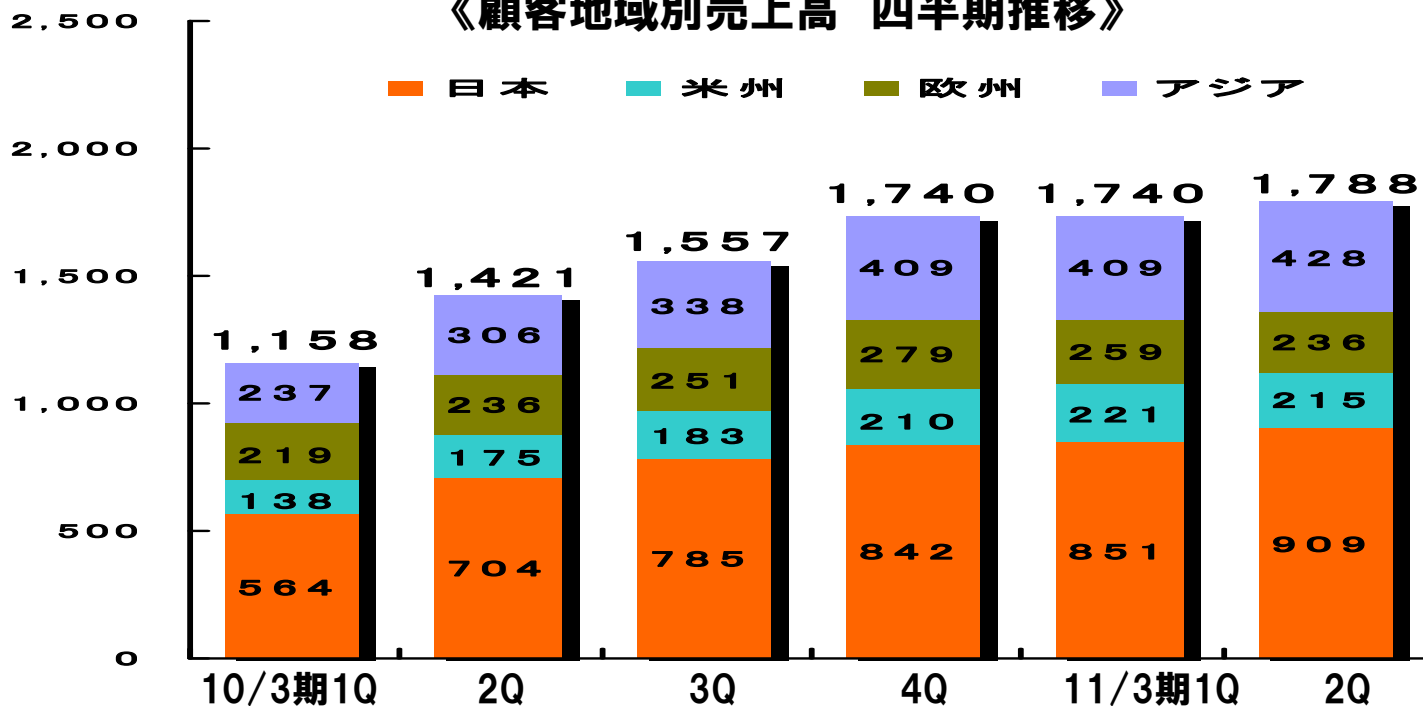
+333億円

△91億円

# 売上高 [顧客地域別]

(億円)	10.3期前半	11.3期前半	対前年増減額	対前年伸び率
売上高	2,579	3,528	+949	+36.8%
日本	1,268	1,760	+492	+38.8%
海外合計 (海外比率)	1,311 (50.8%)	1,768 (50.1%)	+457	+34.9%
米州	313	436	+123	+39.3%
欧州	455	495	+40	+8.8%
アジア (アジア比率)	543 (21.1%)	837 (23.7%)	+294	+54.1%

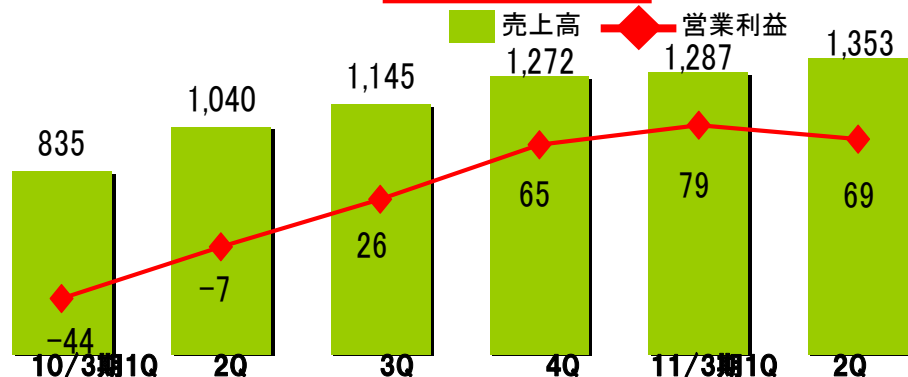
《顧客地域別売上高 四半期推移》



# 売上高・営業利益 [法人所在地別]

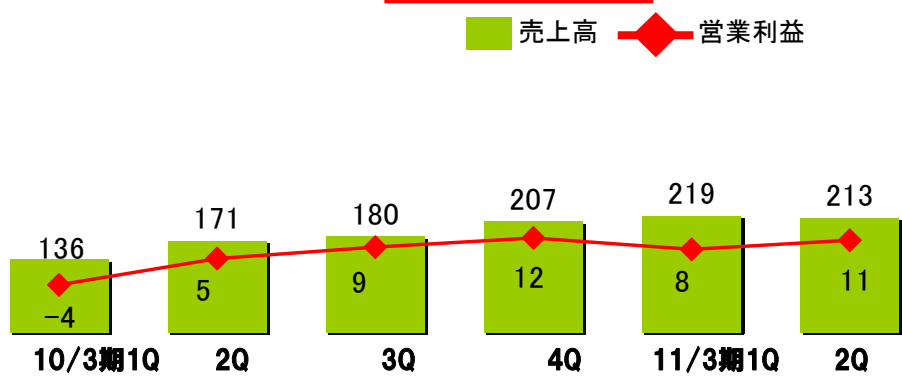
## 【日本】

(億円)	10.3期前半	11.3期前半	対前年 増減額	対前年 伸び率
売上高	1,875	2,640	+765	+40.8%
営業利益	-51 <-2.7%>	148 <-5.6%>	+199	-



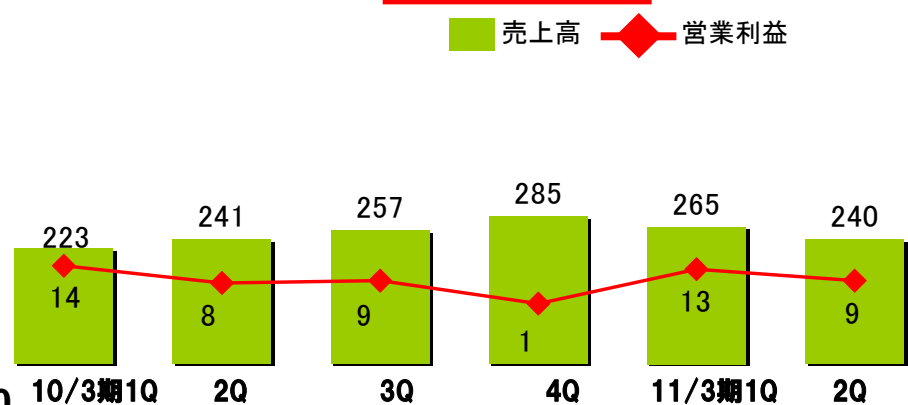
## 【米州】

(億円)	10.3期前半	11.3期前半	対前年 増減額	対前年 伸び率
売上高	307	432	+125	+40.7%
営業利益	1 <-0.4%>	19 <-4.4%>	+18	-



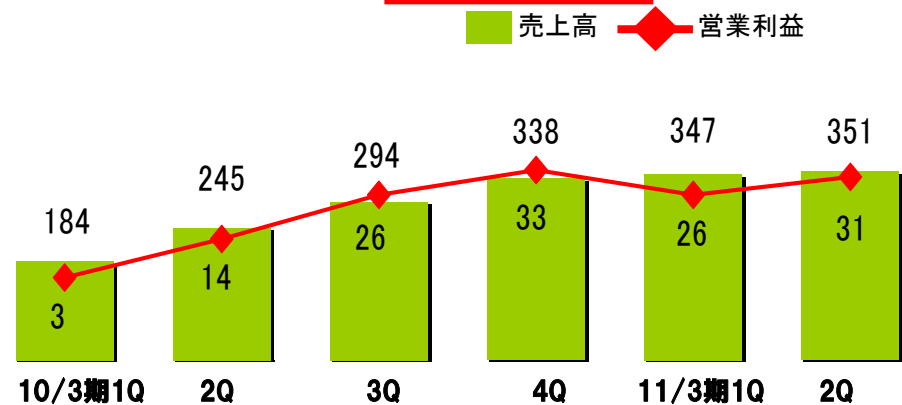
## 【欧州】

(億円)	10.3期前半	11.3期前半	対前年 増減額	対前年 伸び率
売上高	464	505	+41	+8.8%
営業利益	22 <-4.8%>	22 <-4.3%>	-	-



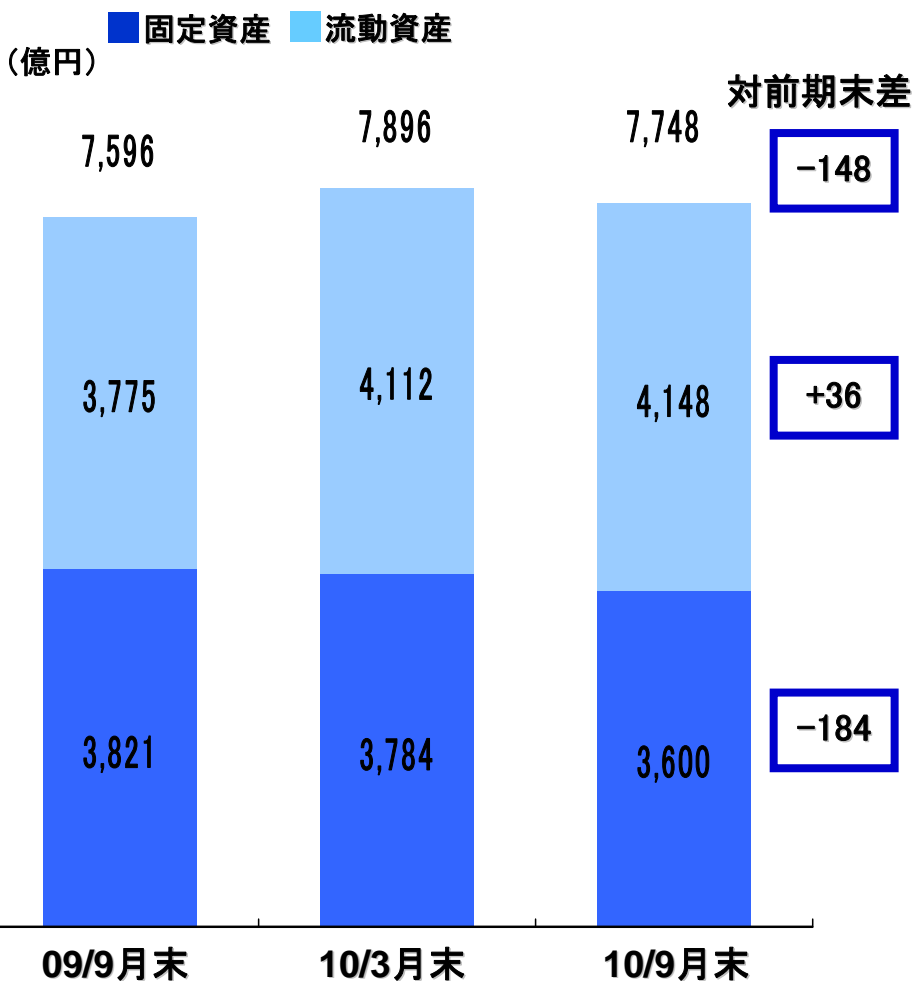
## 【アジア】

(億円)	10.3期前半	11.3期前半	対前年 増減額	対前年 伸び率
売上高	429	698	+269	+62.7%
営業利益	17 <-3.9%>	57 <-8.2%>	+40	+235.3%



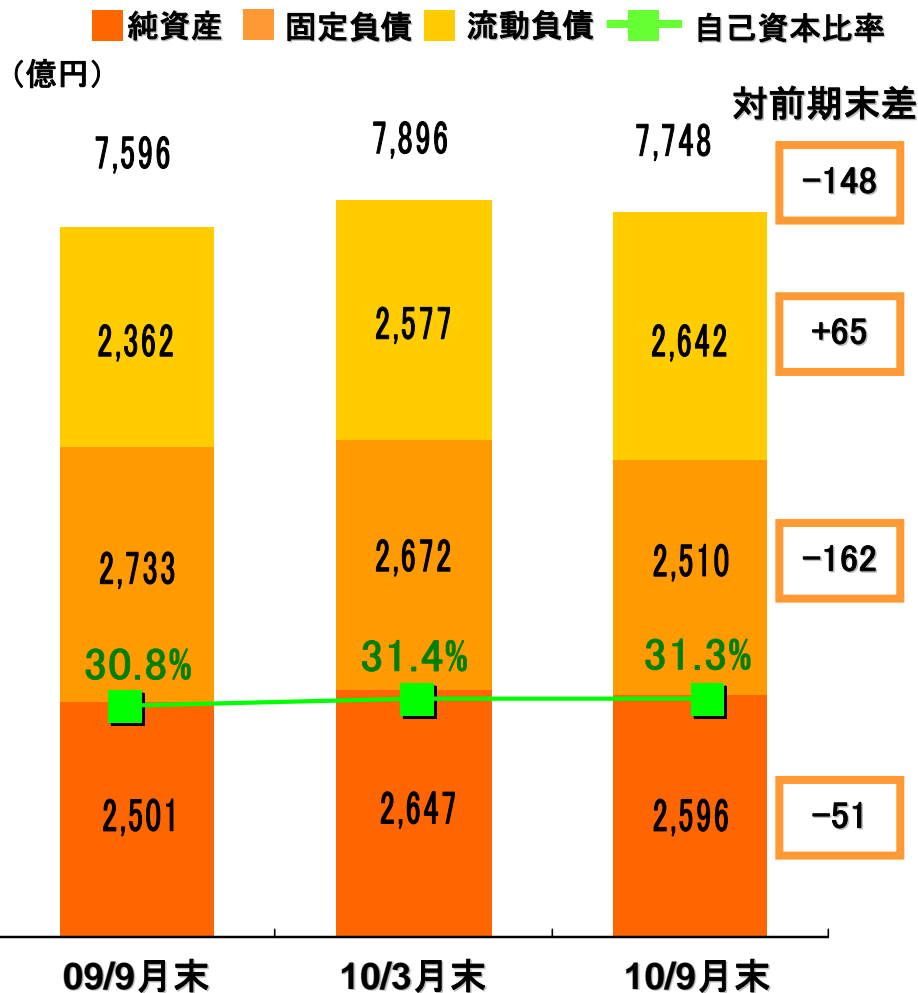
# 貸借対照表

## 資産



90.21	93.04	83.82
131.72	124.92	114.24

## 負債／純資産



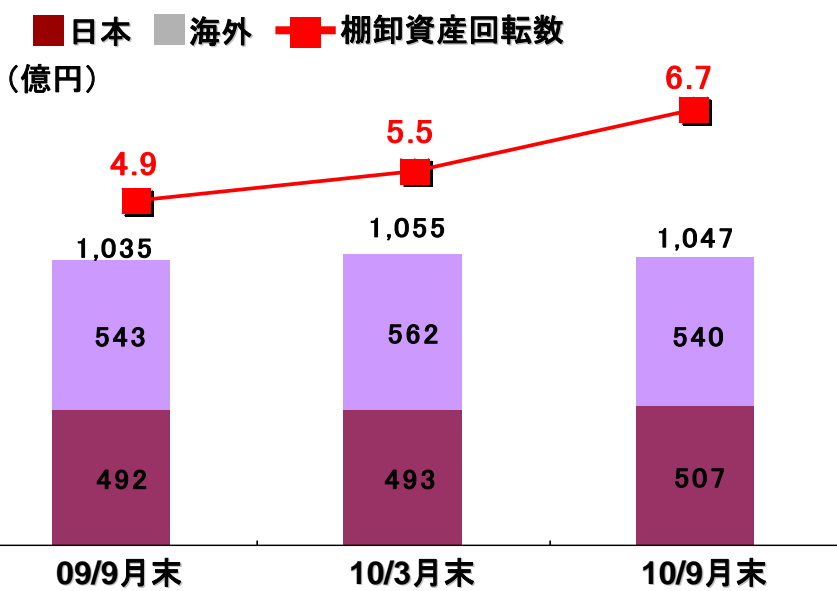
90.21	93.04	83.82
131.72	124.92	114.24

換算レート: 上段US\$ 下段EURO

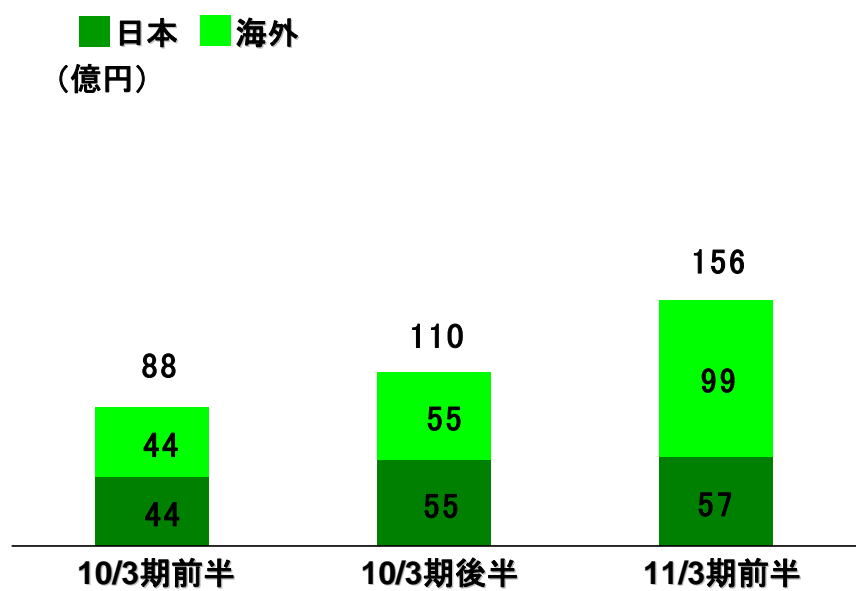
換算レート: 上段US\$ 下段EURO

# 棚卸資産/有利子負債、設備投資/減価償却費

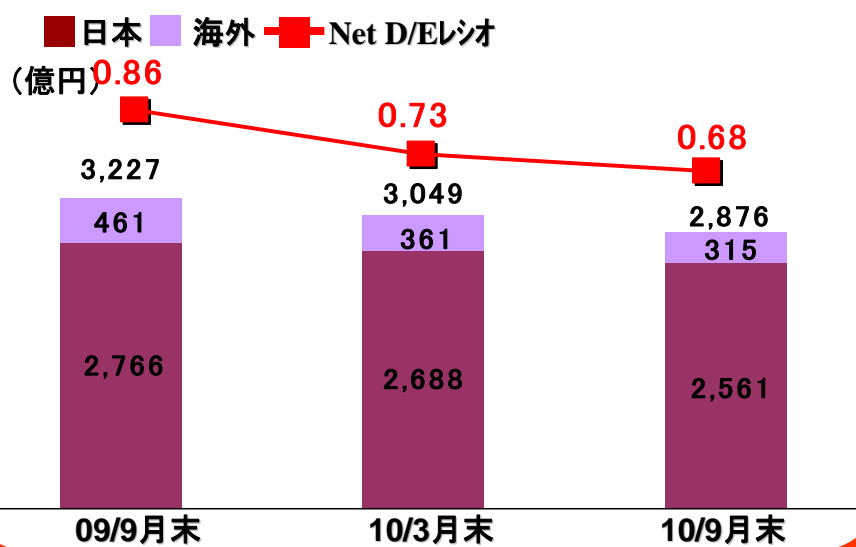
## 棚卸資産



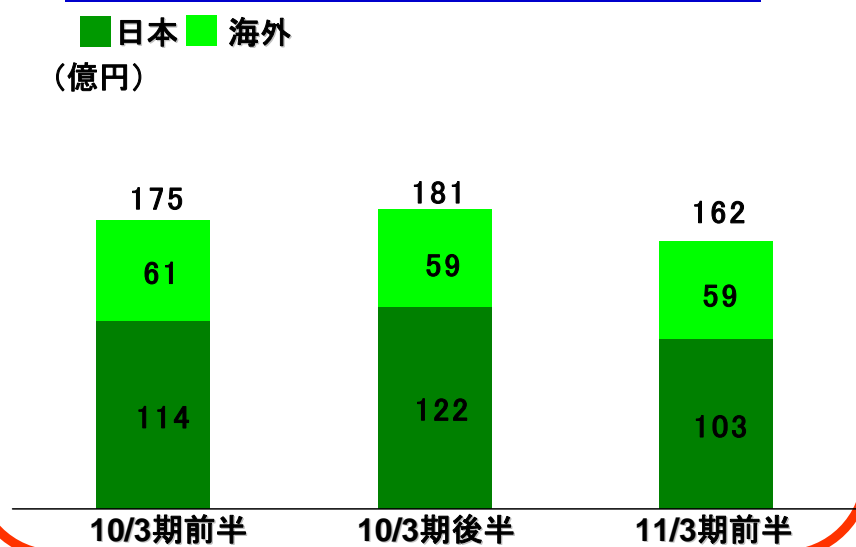
## 設備投資



## 有利子負債



## 減価償却費



**2****2011年3月期通期予想**

---

## 通期業績予想修正

- ✓ 期初予想に対して売上高、利益を上方修正
  - ・ 為替円高と前半の原材料コスト増要因を跳ね返し、後半の増益確保
- ✓ 為替前提：US\$=80円、EURO=110円  
( 期初想定US\$=90円、EURO=125円)

## 後半事業環境見通し

— 各地域GDPプラス成長見込みながら減速懸念が持続 —  
— アジアの好調維持に対し、先進国の不透明感継続 —

- ✓ 産業機械事業：
  - ・ HDD/風車/鉄鋼 — 調整局面、半導体/液晶関連 — 回復に一服感
  - ・ 工作機械/建設機械/産業機械 — 新興国需要の牽引により回復持続
  - ・ 足元堅調ながらも下振れリスクあり
- ✓ 自動車事業：
  - ・ 日系 — 国内向け補助金終了により大幅減なるも輸出がカバー  
海外生産は中国/アセアン/北米(SUV)増で過去最高突破
  - ・ 非日系 — 北米横ばい、欧州停滞中だが通貨安による輸出増

# 2011年3月期 通期予想



(億円)	10/3期	11/3期					
	通期 <実績>	前半 <実績>	後半 <修正予想>	通期 <修正予想>	対前期 増減額	対前期 伸び率	通期 <期初予想>
売上高	5,876	3,528	3,472	7,000	+1,124	+19.1%	6,650
営業利益	113	203	217	420	+307	+271.7%	380
<営業利益率>	<1.9%>	<5.8%>	<6.3%>	<6.0%>			<5.7%>
経常利益	76	173	197	370	+294	+386.8%	330
税引前利益	63	173	197	370	+307	+487.3%	330
当期純利益	48	106	119	225	+177	+368.8%	210
(換算レート1US\$=)	(¥92.83)	(¥88.93)	(¥80)	(¥84.47)			(¥90)
( " 1EURO=)	(¥130.89)	(¥114.03)	(¥110)	(¥112.02)			(¥125)



## 収益体質強化施策の継続徹底

- － 為替変動を睨んだグローバル生産再編前倒し
- － ボリュームゾーンを見据えた積極投資
- － 各拠点での生産性改善施策の継続徹底
- － 外部調達費用の削減
- － 合理化・省人化投資、人員最適化

## 事業環境変化への対応スピードアップ

- － 需要動向のモニタリング強化
- － 物量変動への俊敏な生産対応
- － 棚卸資産の適正水準維持

## コストアップ要因への対策

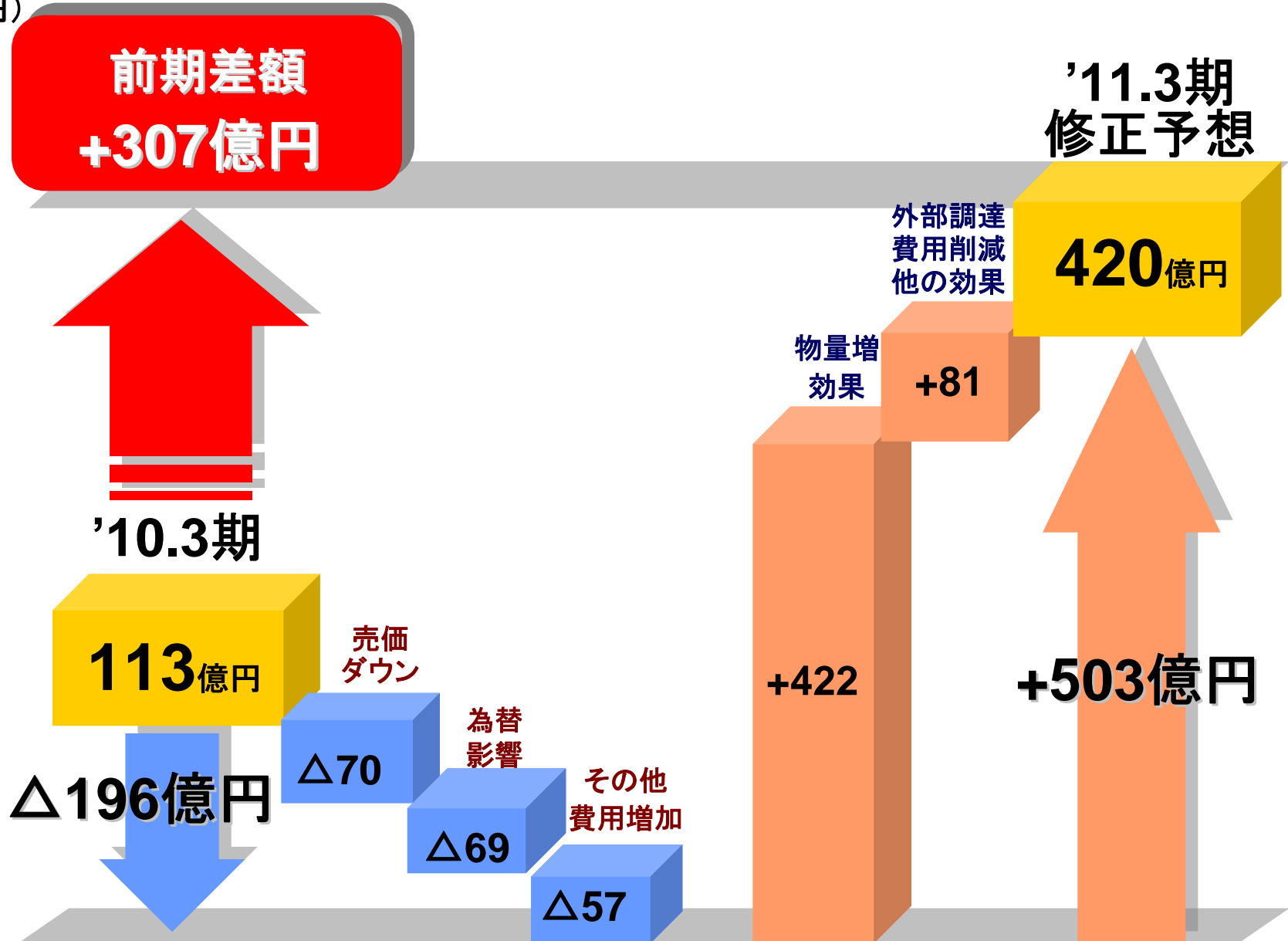
- － 原材料市況変化への対応
- － 為替変動に対する抵抗力アップ  
(現地生産・現調化推進・最適地部品供給)

# 2011年3月期 通期予想 [事業セグメント別]

(億円)	10/3期		11/3期				
	通期 <実績>	前半 <実績>	後半 <修正予想>	通期 <修正予想>	対前期 増減額	対前期 伸び率	通期 <期初予想>
売上高	5,876	3,528	3,472	7,000	+1,124	+19.1%	6,650
産業機械事業	2,020	1,275	1,260	2,535	+515	+25.5%	2,405
産業機械軸受	1,669	987	973	1,960	+291	+17.4%	1,875
精機製品	351	288	287	575	+224	+63.8%	530
自動車事業	3,664	2,122	2,133	4,255	+591	+16.1%	4,035
自動車軸受	1,914	1,088	1,076	2,164	+250	+13.1%	2,085
自動車部品	1,750	1,034	1,057	2,091	+341	+19.5%	1,950
その他	349	261	261	522	+173	+49.6%	385
消去	-157	-130	-182	-312	-155	-	-175
営業利益	113 <1.9%>	203 <5.8%>	217 <6.3%>	420 <6.0%>	+307	+271.7%	380 <5.7%>
産業機械事業	-17 <-0.8%>	82 <6.5%>	98 <7.8%>	180 <7.1%>	+197	-	150 <6.2%>
自動車事業	183 <5.0%>	136 <6.4%>	144 <6.8%>	280 <6.6%>	+97	+53.0%	270 <6.7%>
その他	-2 <-0.5%>	22 <8.3%>	14 <5.4%>	36 <6.9%>	+38	-	20 <5.2%>
全社費用	-51	-37	-39	-76	-25	-	-60

# 営業利益 増減内訳（'10.3期⇒'11.3期修正予想）

(億円)



# 2011年3月期予想 [顧客地域別売上高]

(億円)	10/3期			11/3期					通期 <期初予想>
	前半 <実績>	後半 <実績>	通期 <実績>	前半 <実績>	後半 <修正予想>	通期 <修正予想>	対前期 増減額	対前期 伸び率	
売上高	2,579	3,297	5,876	3,528	3,472	7,000	+1,124	+19.1%	6,650
日本	1,268	1,627	2,895	1,760	1,752	3,512	+617	+21.3%	3,275
海外合計 (海外比率)	1,311 (50.8%)	1,670 (50.6%)	2,981 (50.7%)	1,768 (50.1%)	1,720 (49.5%)	3,488 (49.8%)	+507	+17.0%	3,375 (50.8%)
米州	313	393	706	436	390	826	+120	+17.0%	770
欧州	455	530	985	495	471	966	-19	-1.9%	935
アジア (アジア比率)	543 (21.1%)	747 (22.7%)	1,290 (22.0%)	837 (23.7%)	859 (24.7%)	1,696 (24.2%)	+406	+31.5%	1,670

# 2011年3月期予想 [法人所在地別]

(億円)	10/3期			11/3期					
	前半 <実績>	後半 <実績>	通期 <実績>	前半 <実績>	後半 <修正予想>	通期 <修正予想>	対前期 増減額	対前期 伸び率	通期 <期初予想>
<b>売上高</b>	2,579	3,297	5,876	<b>3,528</b>	<b>3,472</b>	<b>7,000</b>	<b>+1,124</b>	<b>+19.1%</b>	6,650
日本	1,875	2,417	4,292	<b>2,640</b>	<b>2,709</b>	<b>5,349</b>	<b>+1,057</b>	<b>+24.6%</b>	5,100
米州	307	387	694	<b>432</b>	<b>369</b>	<b>801</b>	<b>+107</b>	<b>+15.4%</b>	760
欧州	464	542	1,006	<b>505</b>	<b>461</b>	<b>966</b>	<b>-40</b>	<b>-4.0%</b>	970
アジア	429	632	1,061	<b>698</b>	<b>728</b>	<b>1,426</b>	<b>+365</b>	<b>+34.4%</b>	1,360
消去	-496	-681	-1,177	<b>-747</b>	<b>-795</b>	<b>-1,542</b>	<b>-365</b>	<b>-</b>	-1,540
<b>営業利益</b>	-39 <-1.5%>	152 <4.6%>	113 <1.9%>	<b>203 &lt;5.8%&gt;</b>	<b>217 &lt;6.3%&gt;</b>	<b>420 &lt;6.0%&gt;</b>	<b>+307</b>	<b>+271.7%</b>	380 <5.7%>
日本	-51 <-2.7%>	91 <3.8%>	40 <0.9%>	<b>148 &lt;5.6%&gt;</b>	<b>167 &lt;6.2%&gt;</b>	<b>315 &lt;5.9%&gt;</b>	<b>+275</b>	<b>+687.5%</b>	260 <5.1%>
米州	1 <0.4%>	21 <5.4%>	22 <3.2%>	<b>19 &lt;4.4%&gt;</b>	<b>15 &lt;4.1%&gt;</b>	<b>34 &lt;4.2%&gt;</b>	<b>+12</b>	<b>+54.5%</b>	20 <2.6%>
欧州	22 <4.8%>	10 <1.8%>	32 <3.2%>	<b>22 &lt;4.3%&gt;</b>	<b>11 &lt;2.4%&gt;</b>	<b>33 &lt;3.4%&gt;</b>	<b>+1</b>	<b>+3.1%</b>	30 <3.1%>
アジア	17 <3.9%>	59 <9.3%>	76 <7.1%>	<b>57 &lt;8.2%&gt;</b>	<b>65 &lt;8.9%&gt;</b>	<b>122 &lt;8.6%&gt;</b>	<b>+46</b>	<b>+60.5%</b>	130 <9.4%>
消去/全社費用	-28	-29	-57	<b>-43</b>	<b>-41</b>	<b>-84</b>	<b>-27</b>	<b>-</b>	-60

**3****中期経営計画の進捗状況**

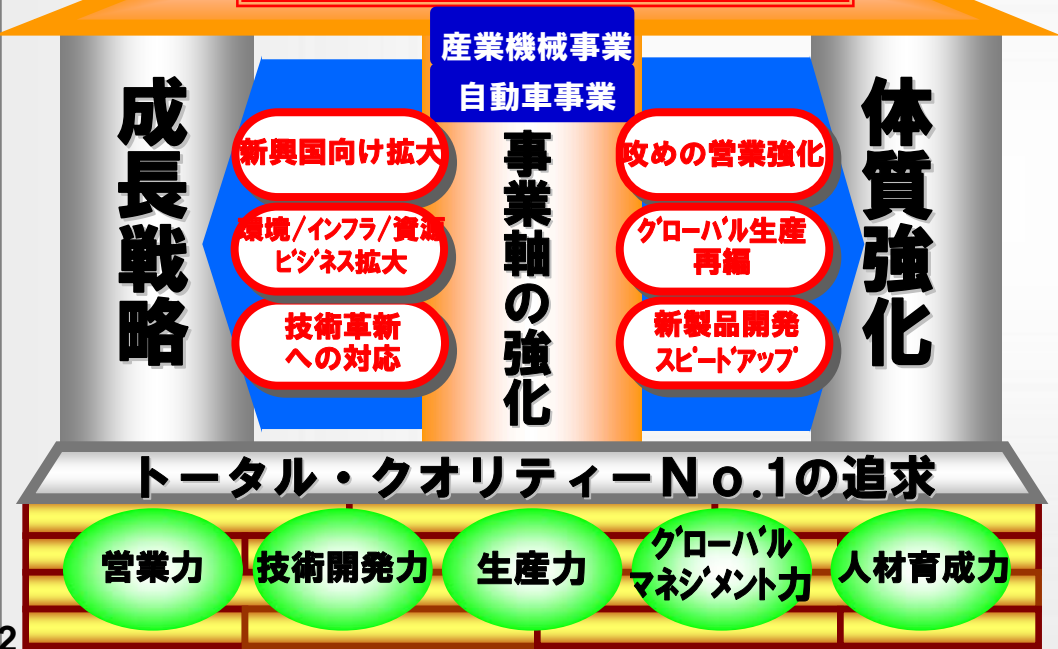
---

# 09～12年度中期経営計画の骨子

09～12年度中期計画の位置付け  
**パラダイムチェンジへの対応**  
**1兆円に向けた事業基盤再構築**

## 《中期計画骨子》

**売上高7,800億円**  
**営業利益率8.5%**

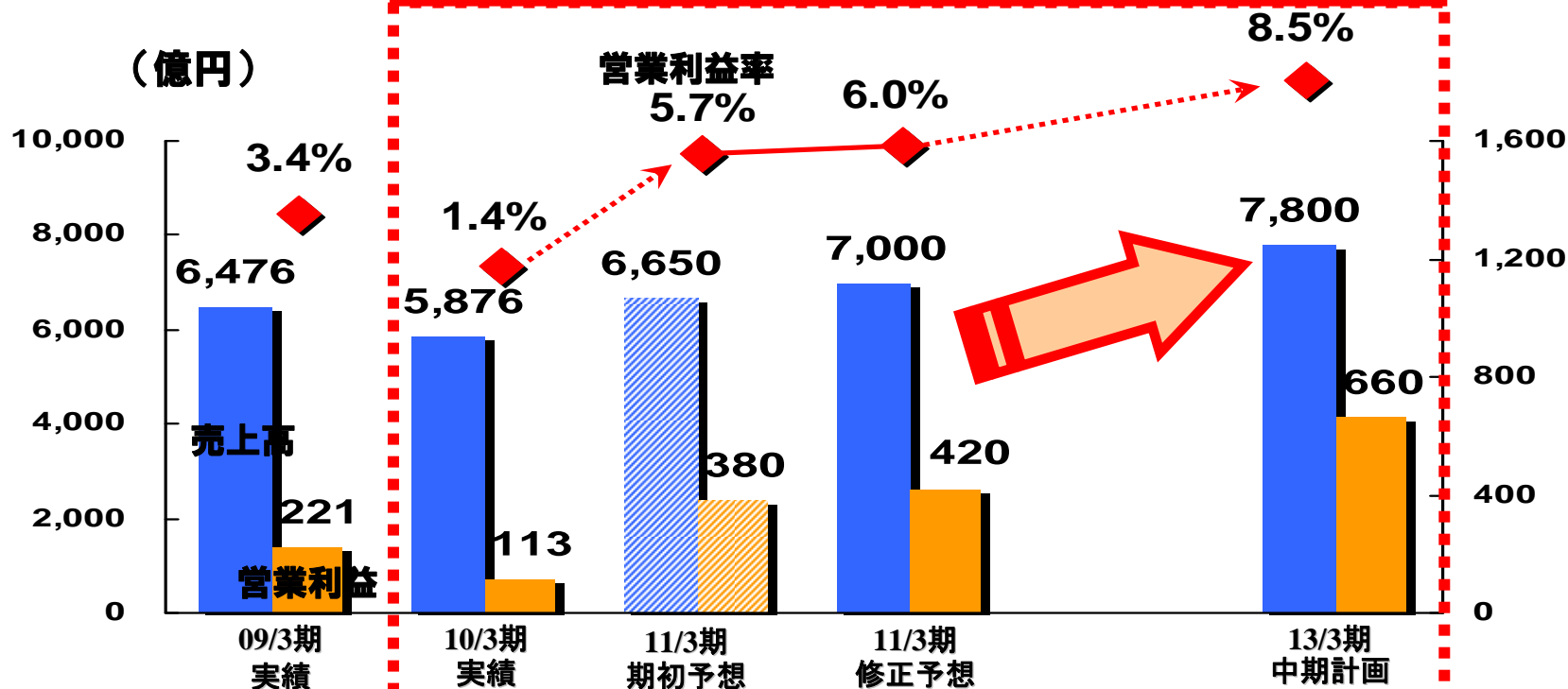


## 《数値目標》

	13年3月期計画
売上高	7,800億円
営業利益	660億円
経常利益	620億円
当期純利益	370億円
営業利益率	8.5%
ROE	14.0%
Net D/Eレシオ	0.5倍

# 中期経営計画の進捗

## 09~12年度中期経営計画



\$	¥100.74	¥92.83	¥90	¥84.47	
円-口	¥144.47	¥130.89	¥125	¥112.02	

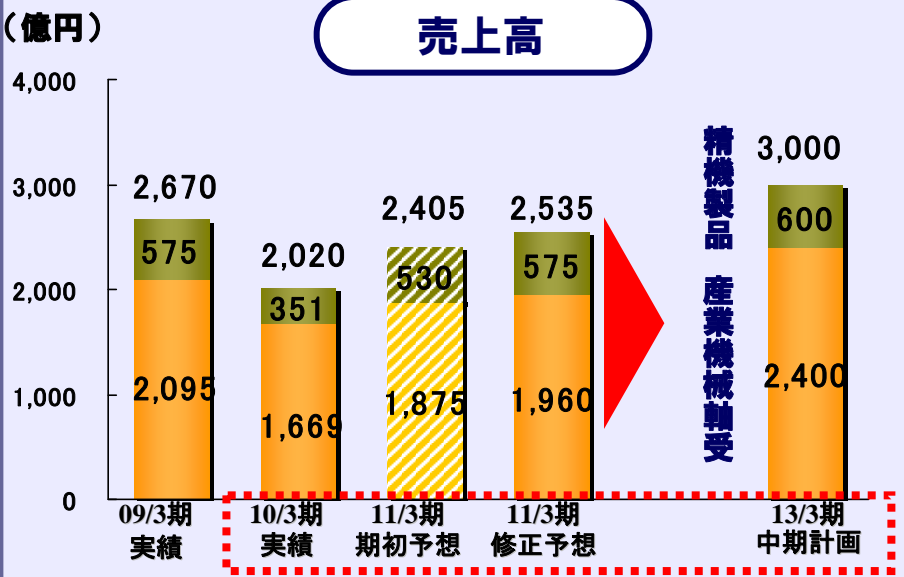
¥90
¥120

◎11/3期予想：需要回復予想、収益改善の進展を見込む

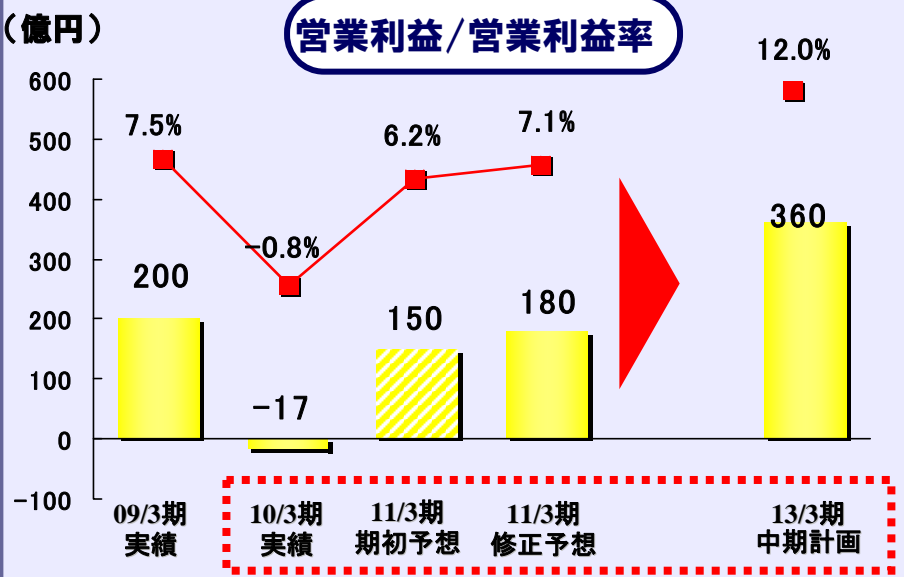
⇒13/3期計画に向けて順調な進捗



## 売上高



## 営業利益/営業利益率



## 中期計画数値進捗

- ◆売上は産軸・精機共に中期目標に対し順調に進捗
- ◆営業利益は一般産機・アフターマーケットの拡大と精機の改善及び各施策実行により必達

## 重点施策の進捗

### 産業機械軸受

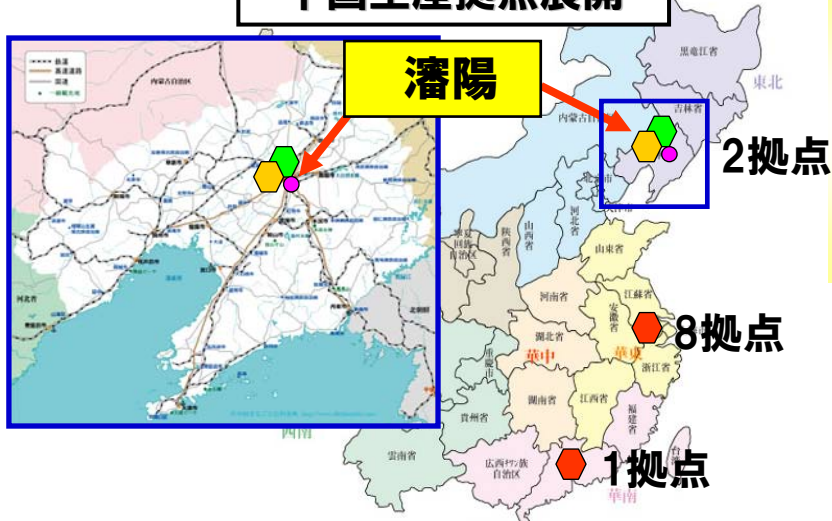
- ◆**販売戦略**
  - ・セクター活動～OEM拡販～補修需要確保のサイクル固め強化
  - ・新興国 販売拠点(支店)拡充
  - ・アフターマーケット 販売店網の拡充継続
- ◆**生産力強化**
  - ・海外生産強化(中国・アセアン展開)
  - ⇒中国大形軸受, アセアン・中国 玉軸受

### 精機製品

- ◆**中国ボールねじ工場生産開始**
- ◆**再編日程見直しによる生産最大化**
  - ・需要回復に対する柔軟生産対応
  - ⇒機会損失回避
- ◆**黒字体質定着から収益向上フェーズへ**
  - ・移管再編による構造的コストダウン
  - ・製品差別化戦略(BS), 標準品戦略(LG)

## 中国東北部(瀋陽地区)への生産展開

中国生産拠点展開



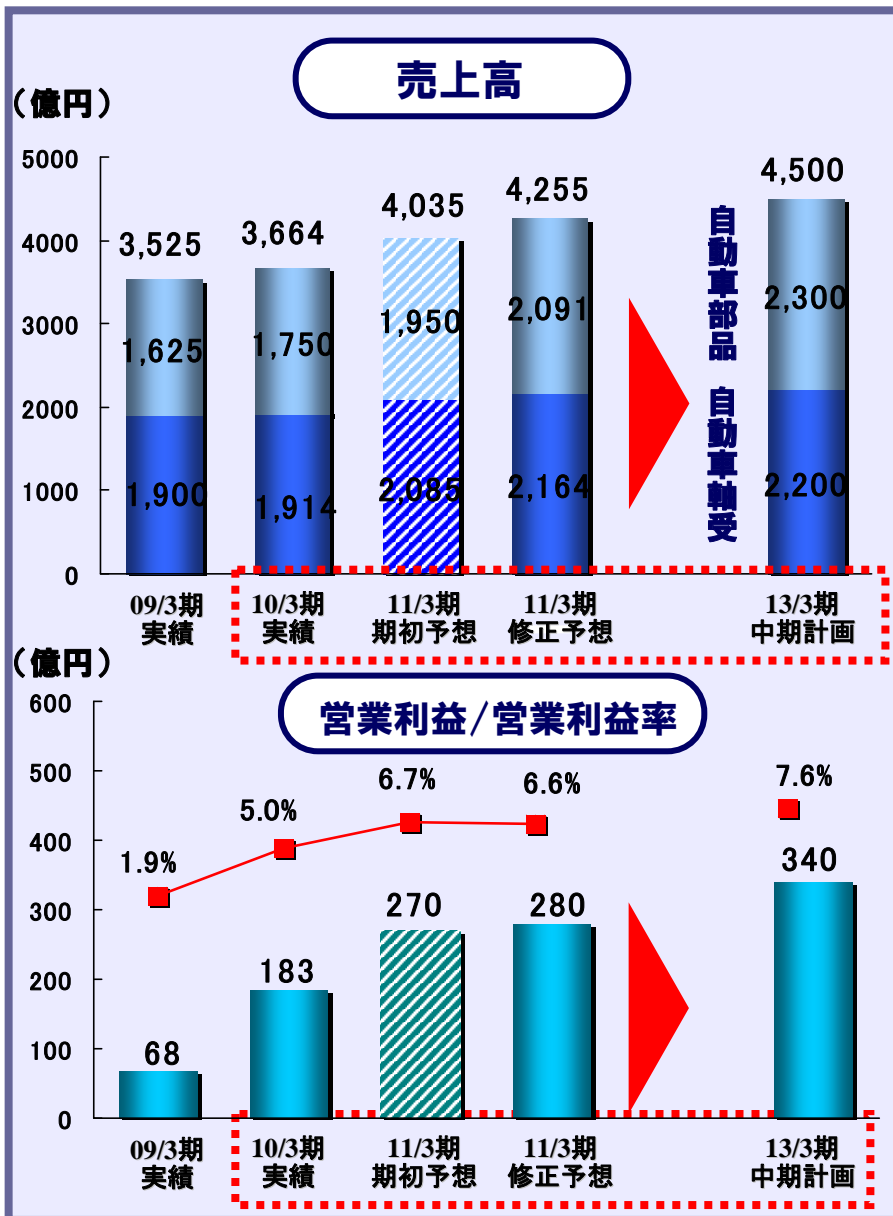
- ◆フルラインナップ生産体制確立
- ◆沿岸部から東北部への事業拡大
- ◆地場メーカーへの積極拡販

	●産業機械軸受工場	●精機工場
製造品種	大形軸受	ボールねじ
生産開始	2011年3月(予定)	2010年4月

## 現地生産力強化・現調化促進

現地生産力強化	玉軸受	最適地生産・現地生産拡大
	大形軸受	中国生産
	精機	アジア生産展開
現調化促進	鋼材	中国・韓国材利用
	前工程	現地化拡大
	部品	現調化拡大、LCC調達

- ◆成長地域での基盤拡大
- ◆ボリュームゾーン対応
- ◆海外売上比率に見合った海外生産比率アップへ
- ◆為替変動耐性の向上



## 中期計画数値進捗

- ◆売上は中期目標値を上回る勢いで進捗
- ◆環境変化(為替、原材料コスト、物量変動)への対応力を高めながら、収益性の向上に徹底注力

## 重点施策の進捗

### ◆成長戦略

- ・新興国、ボリュームゾーン対応
- ・地域/車種 セグメント別差別化開発
- ・EPS案件獲得、車載モータ用需要取り込み

### ◆生産戦略

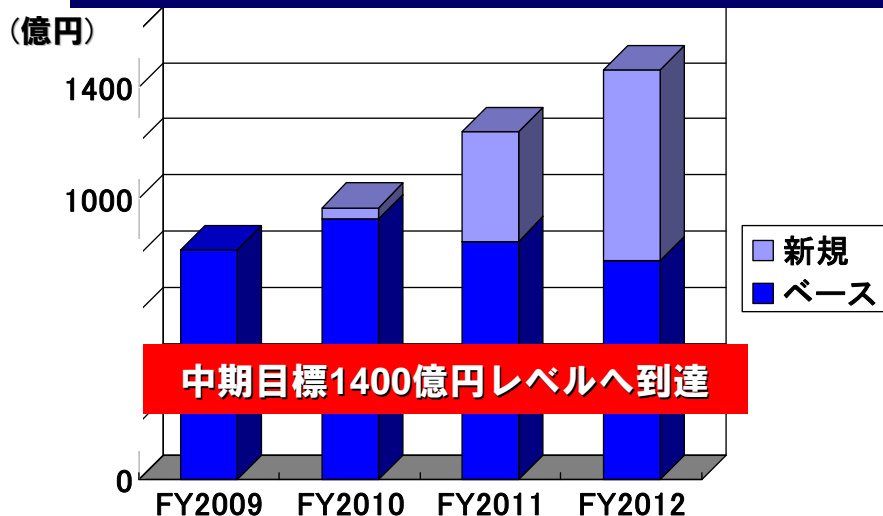
- ・省人化投資
- ・海外生産、需要地生産拡大
- ・グローバル調達施策のスピードアップ  
(鋼材・前工程現地化、部品現地調達)

### ◆新技術/新製品の開発強化

- ・「未来技術センター」設立

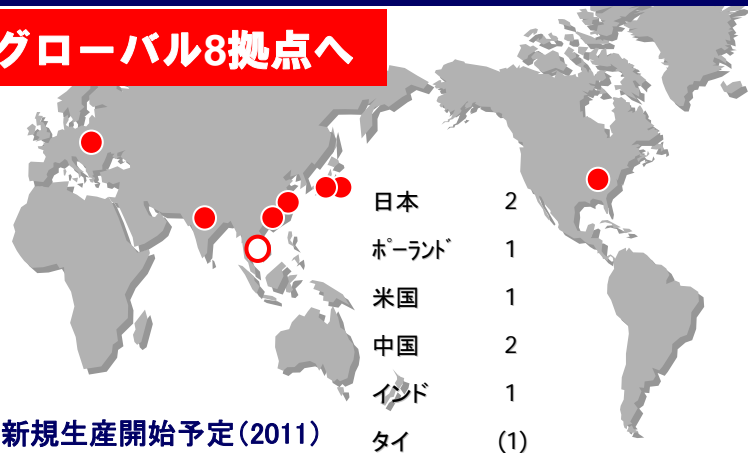
## 拡大する受注案件への取り組みと次世代案件基盤整備

### 中期計画案件受注積上げ状況



### グローバル生産拠点整備

#### グローバル8拠点へ



### 重点施策の進捗

#### 【販売】

- 中期案件 獲得目標レベル到達
- 次世代案件獲得 強化

#### 【生産】

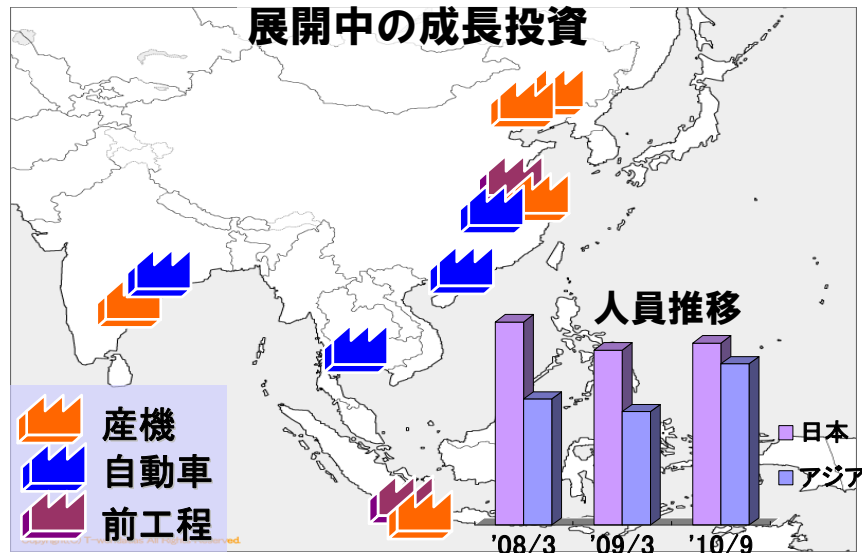
- 中国 第2拠点での量産開始
- 新興国 生産拠点拡充
  - \* 世界8拠点供給体制へ
- 需要地生産、最適地部品調達

#### 【技術】

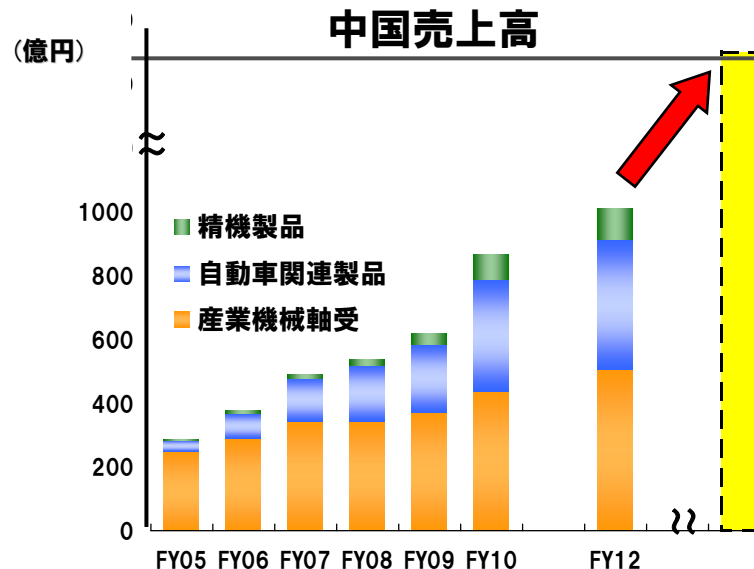
- 技術リソース強化
  - \* 地域テクノロジーセンター活用とグローバルネットワーク構築
- 電子部品 開発強化 \* 開発新会社設立

- ◆ グローバル案件対応力強化
- ◆ プロジェクト・マネジメントシステム高度化
- ◆ EPStータルシステムとしての高度化

## アジア生産 成長投資



## 中国 成長戦略加速



### ◆ 中国

- 産機 : 瀋陽 大形軸受、ボールねじ、  
昆山 玉軸受
- 自動車 : 万達/東莞 EPS、昆山 HUB
- 前工程 : 杭州 鋼球、張家港/八木 前工程

### ◆ アセアン

- 産機 前工程 : ジャカルタ 玉軸受、
- 自動車 : タイ EPS

### ◆ インド

- 産機 : NABI 玉軸受
- 自動車 : RNSS 持分増加

### ◆ 生産

フルインナップ生産体制の確立 ⇒ 更なる増強

### ◆ 販売

販売拠点・代理店網 拡充整備継続加速

### ◆ 技術

R&Dセンターを活用した現地ニーズに応える  
製品開発・設計のスピードアップ

### ◆ 地域本部

戦略統括機能強化

中国成長スピードを見据えた  
新成長戦略の構築へ

**（補足資料）**

# (補足資料) 設備投資/減価償却費/研究開発費

(億円)	10/3期 実績	11/3期 前半実績	11/3期 予想
設備投資(*)	198	156	390
日本	99	57	180
海外	99	99	210
米州	10	8	25
欧州	11	8	30
アジア	78	83	155

\* 無形固定資産を除く

(億円)	10/3期 実績	11/3期 前半実績	11/3期 予想
償却費(*)	356	162	350

\* 無形固定資産を除く

(億円)	10/3期 実績	11/3期 前半実績	11/3期 予想
研究開発費	88	50	90